

# HOKUSEI@COM

2017  
SEPTEMBER  
vol. 23  
RENEWAL

- 04 [学生たちの素顔]  
文学部 英文学科3年 菊沼しおりさん  
自分を成長させてくれた、日米リーダーシッププログラム。
- 05 経済学部 経済学科4年 福沢大貴さん  
挫折からの成長。夢を追い、憧れのイギリスへ。
- 06 [OG&OB インタビュー／卒業生は、いま。]  
WEBデザイナー 対木 理恵さん  
もっと世界を旅したい。もっと地球上に出会いたい。
- 07 函館市消防職員 渋谷 亮太さん  
自らを鍛え、友情を育んだ4年間。合氣道がくれた生涯の宝。
- 08 [誌面リニューアル特別企画]  
表紙デザイン担当 佐々木 紫帆さん  
北星らしさを、自分らしいデザインで伝えたい。

- 09 [学生広報委員 企画ページ]  
今こそ！ 北星へ行こう！  
図書館、学生食堂のご案内。
- 10 [北星学園創立130周年]  
130年の歴史は未来を創る。
- 11 [HOKUSEI CAMPUS NEWS]  
2017年度前期に実施した事業や活動の一部を紹介。
- 12 [HOKUSEI INFORMATION 北星学園大学からのお知らせ]  
ディズニーワールドと連携した「パレンシア国際カレッジプログラム」が始まります！  
[まちがいさがしクイズ]  
北星学園大学オリジナルグッズが当たる！



02-03

[特集] 彫刻家 安田 侃さんインタビュー

石と対話し、  
自分の心と対峙する。

(インタビュアー)

文学部 心理・応用コミュニケーション学科 4年 今村 史織

経済学部 経済学科 2年 七戸 雅子

# 石と対話し、自分の心と対峙する。

かつて炭鉱の町として栄えた美唄市に生まれ、

彫刻家として世界に名を馳せる安田侃さん。

2015年春に完成した北星学園大学C館ホワイエにも、<sup>\*</sup>

安田さんの作品『地人』が設置されています。

今回は、安田さんがライフワークと位置付ける

「アルテピアツア美唄」で本学学生がインタビュー。

安田さんの気さくな人柄にふたりの緊張もとけ、

和やかな会話が弾むひとときとなりました。

※C館ホワイエ：1階吹き抜け部分

## 「北星らしさ」をたたえた小さな青い彫刻

今村：ふだんC館で見かける彫刻が安田さんの作品『地人』と知り、とても驚きました。世界的彫刻家である安田さんと本学とはどんなご縁があるのでしょうか。

安田：話はずいぶんさかのぼりますが、学生時代に教育実習で訪れた美唄の小学校で5年生を担当したんです。その時の教え子のひとりが大きくなって北星学園大学に入学し、丁寧な手紙を送ってくれました。こんな誠実な学生を育てている大学なのか、と好印象を持ったことを覚えています。その後アルテピアツア美唄に足を運んでくださっていた北星学園大学の先生と知り合い、僕の作品をキャンパスに置きたいと言つていただいたことから『地人』を設置することになりました。見えない縁のようなものを感じます。

七戸：安田さんの作品はJR札幌駅や創成川公園などさまざまな場所で観ることができますが、『地人』は青い色や小ぶりなサイズなど、他の作品とは異なる印象を受けます。

安田：北星学園大学のスクールカラーもブルーなのだろうですね。青い石はとても珍しいもので、石を選んだ当時はスクールカラーを知らなかつたのですが「北星らしい石だ」と直感的に思いました。小さくても他の石とは異なる雰囲気を持っているところも北星らしいのではないでしょうか。



## PROFILE

やすだ 侃

1945年北海道美唄市生まれ。東京芸術大学大学院彫刻科修了後、1970年イタリア政府招聘留学生として渡伊。ローマ・アカデミア美術学校でベリクレ・ファッソニ氏に師事する。以降、大理石の産地として知られる北イタリアのピエトラサンタにアトリエを構え、大理石とブロンズによる彫刻の創作活動を続けている。



いまむら しおり

文学部 心理・応用コミュニケーション学科4年  
(札幌北高等学校出身)

JR札幌駅での待ち合わせに使っていた白い彫刻も安田さんの作品と知り、とても親しみを感じました。世界的彫刻家の作品が自分の大学に設置されていることがとても誇らしく、自分の彫刻に対する感じ方がこれからどう変化していくのか、とても楽しみです。



しおのへ まさこ

経済学部 経済学科2年  
(札幌光星高等学校出身)

安田さんのお話はとても哲学的で、自分を振り返りながらいろいろ考えさせられました。授業やアルバイトに忙しくて自分と向き合えていないという焦りがあったので、彫刻の見方や「ここを彫る授業」のお話はとても興味深く感じました。

## 感じる。考える。作品を通して自分と向き合う

今村：安田さんほど著名な方の作品が、通い慣れたキャンパスの風景に溶け込んでいるのが不思議な気がします。

安田：よく言われるのですが、僕の作品は置いたばかりの場所なのにずっと前からそこにいたような顔をしていますね。みなさんが大学に入学して新しい環境になじむまでは大変だったろうと思いますが、なぜ石がその場になじんてしまうのか、自分でもよくわかりません。

七戸：作品名や作者名のプレートもとても控えめですし、一見すると安田さんの作品と気づかないほどです。『地人』にはどのような思いが込められているのでしょうか。



北星学園大学C館ホワイエ(1階吹き抜け部分)に設置されている安田侃さんの作品「地人」

安田：本音を言えば自分の作品だとわからないようにしたいくらいなんです。それというのも、作者の名前や作品の意図などは観る人にとって何の意味もないと思うから。「この石は何だろう?」と疑問に思い、考え始めた時から観る人と作品との対話が始まっています。みなさんが同じ『地人』を観ても、そこから感じ取ることはそれぞれ違うはず。その感覚にそれが向かい、考えることに作品の存在意義があるんです。その時は「こういう意味なんだ」と思っても、何年か経って再び観たら全く違うことを感じるかもしれません。さらに何十年も経って再び作品を観ることを想像してみてください。石は石のままで変わることなく、年を重ねて変化したのは自分だったと気づいた時、石は「時間」という壮大な意味を帯びてくることでしょう。『地人』が設置されて1年以上経ちましたが、その間にも石はみなさんの「時間」を見つめています。みなさんがキャンパスで過ごす間に『地人』を通して何を感じ、それはどう変わっていくのか、石との対話を通して自分自身と向き合ってもらえればと願っています。



### 安田侃彫刻美術館 アルテピアツツア美唄

安田侃氏の故郷、美唄市にある野外彫刻美術館。閉校した小学校跡地を中心とする広大な敷地内に40点あまりの作品が展示されている。

住所：美唄市落合町栄町

TEL：0126-63-3137

開館時間：9:00～17:00

休館日：毎週火曜日、祝日の翌日(日曜日は除く)、年末年始

入場料：無料(任意によるご寄付をお願いしています)



## 歴史、自然、人間の心に共鳴する彫刻

今村：安田さんは野外彫刻を数多く手がけていらっしゃいますが、環境との調和についてどのように考えていらっしゃいますか。

安田：活動拠点にしているイタリアでは、2000年前の古代ローマ遺跡「フォロ・ロマーノ」や600年以上の歴史を持つ「ボーボリ庭園」に僕の作品が永久設置されています。彫刻は人間の意志によって破壊されない限り、1000年以上存在し続けるもの。だから何百年、何千年という時を経た遺跡空間にも違和感なくとけ込むかもしれません。

七戸：北海道では冬になると野外彫刻が雪に埋もれますが……。

安田：すべてを白で覆い尽くしてしまう雪にかなう造形物はありません。その中に何があるのか、春になったら何が出てくるのか想像するのも、冬ならではの鑑賞の楽しみと言えます。ここアルテピアツツア美唄は、雪が降ることで彫刻がより美しく見える空間を目指しました。雪が降る地域で1年中開館している美術館は世界でも他にはありません。

今村：安田さんが不定期で講師を務められる「こころを彫る授業」も人気だそうですね。

安田：目には見えない「心」を石に彫るプロセスを通して、参加者は自分の心と徹底的に向き合います。途中で嫌になる人、居眠りする人、夢中になる人、一人ひとり姿勢も違えばできあがる作品も違うから面白い。僕も長年石を彫り続け、最近になってようやく彫刻の意味に気がつき始めました。若い頃は勉強や仕事、社会の義務などに捉われがちだけど、人生も終盤に差し掛かって自分の役割や使命が見えてくるようです。見えないものを追い求めた末に人生の意味や目的に気づくのが人間なのかもしれません。

今村・七戸：今日は大変示唆に富んだお話を伺うことができました。どうもありがとうございました。





# 自分を成長させてくれた、 日米リーダーシッププログラム。

文学部 英文学科3年

菱沼 しおり さん (Hokkaido International School出身)

## 「2016-2017 TOMODACHI MetLife Women's Leadership Program」 グループプレゼンテーションで本学学生が優勝しました！

「TOMODACHI」は、日米の次世代のリーダー育成を目指す公益財団法人米日カウンシルと在日米国大使館が主導する官民パートナーシップ。そのプログラムのひとつである「TOMODACHI MetLife Women's Leadership Program」は、高い目的意識を持った日本の女子大学生が中堅・若手女性リーダーの指導のもと、次世代の女性リーダーを目指してさまざまな学びに取り組みます。2013年の発足以来、東京・大阪・福岡・那覇と開催地は拡大し、2016年度には札幌での開催が実現。第1期生10名のひとりに菱沼しおりさん(文学部英文学科3年)が選ばれました。

菱沼さんは昨年9月より計5回の地域研修を経て今年3月にアメリカを訪問。訪問中に行われたグループプレゼンテーションで、10グループのトップ3に選ばれました。さらに5月28日、東京での卒業式に際して行われたプレゼンテーションで菱沼さんのグループが見事優勝。有終の美を飾って全プログラムを終えました。



アメリカ合衆国議会議事堂前で、全国から集まつた参加メンバーとともに。アメリカ訪問の初日で少々緊張気味。



東京でのグループプレゼンテーションで優勝！参加できなかったメンバーの写真をスマホに表示して一緒に記念撮影。



ニューヨーク市内の公園にて仲良しグループでバチリ。背の順に並んだら前から4番目になりました。

### 苦手意識からプログラムがスタート

短期大学部に在籍中、先生の勧めでプログラムに応募しました。でもじつは気が進まなかっただんです。英語は話せるけれど海外よりも日本が好き。初対面の人と長い時間を過ごすのも団体行動も苦手。メンバーに選ばれて地域研修が始まつてからも憂鬱でした。

### グループプレゼンテーションが転機に

アメリカ訪問には全国から50名の女子大学生が参加。ワシントンD.C.とニューヨーク市で政府や企業などの女性リーダーと交流を行いました。その後グループプレゼンテーションに向けて他のグループは熱心に準備を進めていましたが、私たちのグループは毎日アメリカ観光を満喫！おかげですっかり打ち解けたものの、プレゼンテーションの準備はいつも深夜になってから。マイペースで作業を進めたい私はつい不安を口にしてしまいました。するとメンバーが「大切なのはみんなで話し合うプロセス。ひとりで不安を抱え込まないで」と言ってくれたんです。その時、完璧を求めるあまりチームワークを忘れていた自分に気づきました。それからは何でも言い合える仲になり、発表本番では「レベルの高い発表は他にもあったがチームワークが際立っていた」と高い評価をいただき、東京での最終発表では優勝することができました。今回の経験は今までの価値観を変えるとともに、視野を大きく広げてくれました。この春文学部に編入して環境が一変ましたが、新しい友人との交流やゼミのグループワークを楽しんでいる自分がいます。

### 先生と友人に励まされ、夢を目指して勉強中

あの日の先生の勧めがなければ、今の自分はいませんでした。北星には学生一人ひとりに目を配り、その人に必要な学びへ導いてくれる先生がいます。そして、夢に向かって努力する学生がたくさんいます。そんな友人たちの姿にも励まされ、私もキャビンアテンダントの夢を目指して頑張ります。

# 挫折からの成長。 夢を追い、憧れのイギリスへ。

経済学部 経済学科4年・英語副専攻  
福沢 大貴さん（旭川西高等学校出身）



文部科学省「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」地域人材コース「北海道海外留学支援事業～道産子海外留学応援プログラム」に本学学生が選ばされました！

「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」は若者の海外留学を官民協働で支援するプロジェクトです。その中の地域人材コース「北海道海外留学支援事業～道産子海外留学応援プログラム（ほっかいどう未来チャレンジ基金）」は、グローバルマインドを持って北海道の産業振興を担う人材育成を支援する奨学金制度として、今年度よりスタートしました。その第1期生10名のひとりに選ばれたのが、福沢大貴さん（経済学部経済学科4年・英語副専攻）です。

福沢さんはアイヌ文様をデザインに取り入れたファッショントレンドを世界に展開するビジネスアイデアをプレゼンテーションし、審査員の高い評価を受けました。福沢さんは本学の派遣留学制度を利用して、この9月よりイギリス・リージェンツ大学で学んでいます。



2年生の夏、海外事情の履修メンバーで合宿を実施。まさかこのあとテロの影響でイギリス渡航が中止になるとは夢にも思わず…。

## 不本意な入学、目標の喪失

美術大学の受験に失敗して北星に入学。学生生活に希望を見出せずにいましたが、あるきっかけでファッションに興味を持ち、いつしかファッションの先進地・イギリスに憧れるようになりました。そして2年次の英語副専攻に「海外事情」というロンドンでの研修プログラムがあることを知り、俄然やる気が湧いてきたんです。研修先のリージェンツ大学にはファッションデザイン学部があり、私はデザイン分野の教授へのインタビューを目標に準備に打ち込みました。ところが渡航直前にフランス同時多発テロが発生し、プログラムが急遽中止に。やっと見つけた目標を奪われた喪失感で、再び無気力な日々に戻ってしまいました。



3週間の代替プログラムでは、北大大学院からザンビア出身のヒルトンさんなども招きディスカッションをしました。

## 渡英を目指して派遣留学に挑戦

しかし海外への思いは断ちがたく、海外事情の代替プログラムとして札幌在住の外国人とのインタビューセッションを企画。経済や心理学など各自の専攻別にテーマを設定し、ブラジルやレバノンなど世界各地からのゲスト18名と英語で交流した3週間は、多文化都市・札幌を実感させてくれるものでした。これを機にやる気が復活し、派遣留学での渡英を目指して英語を猛勉強。授業に加えて北星オープンユニバーシティのTOEFL対策講座も受講し、社会人受講生の方々からも良い刺激を受けながら英語力を磨き、昨年秋に留学生選考にパスすることができました。



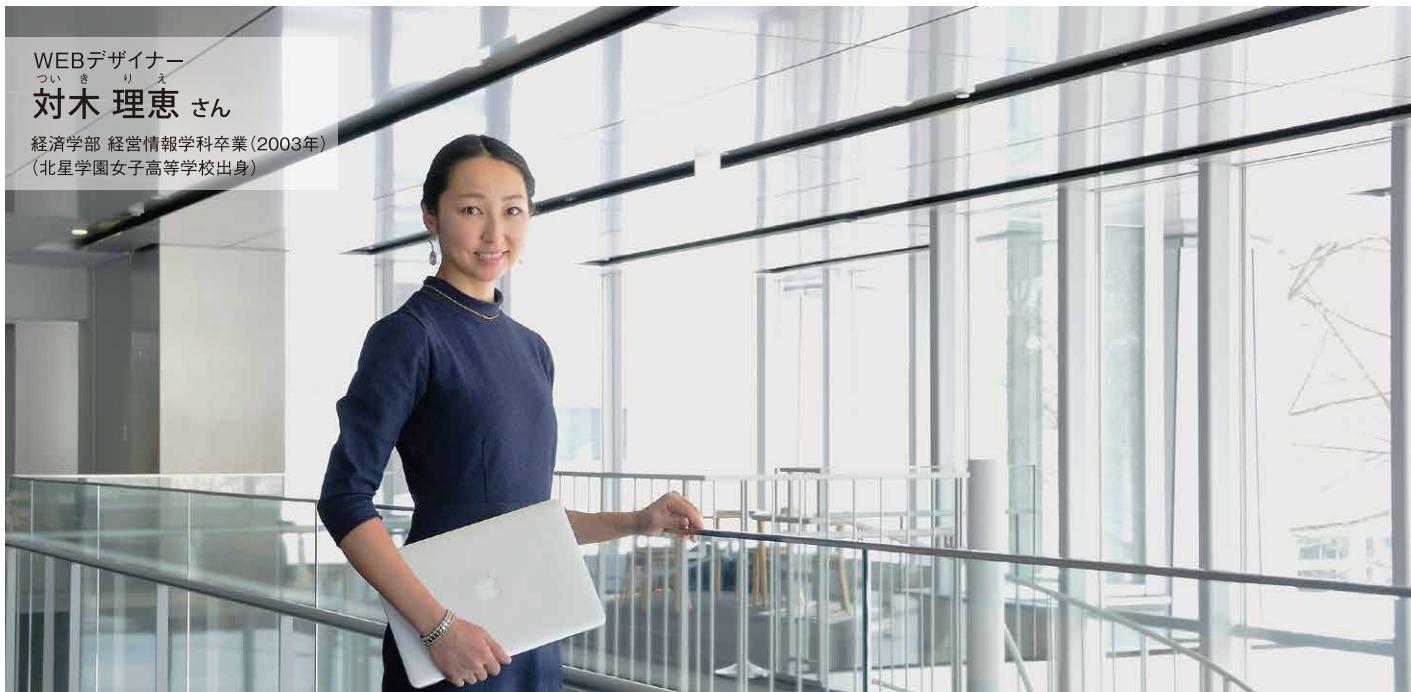
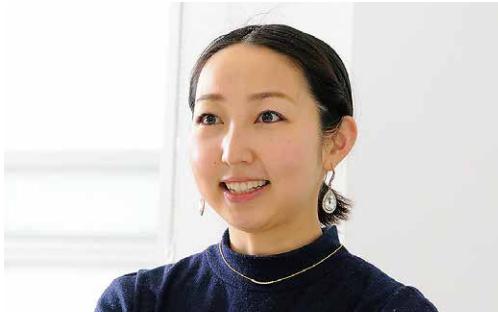
自分たちで英語の依頼文を作成してインタビューセッションをオファー。アメリカ総領事館のビーズリー領事にもご来校いただきました。

## アイヌ文化の魅力を世界へ

「トビタテ！留学JAPAN」を知ったのはその頃。絶対に挑戦したいと思い、自分にできることを考えた末に着目したのが「アイヌ文様」でした。好きなファッショントレンドを北海道に根ざしたアイヌ文化を結びつけ、世界へ発信する——アイヌ民族の文化や刺繡を独学で学び、その魅力を知るほど思いは強くなりました。リージェンツ大学では積極的に人脈を広げつつ、アイヌ文様を取り入れたファッショントレンドを発信していくことを思っています。入学当時は不本意だと思っていたけれど、北星に來ていなければ今の自分はありませんでした。語学習得や留学のチャンスをくれた学修環境、親身にアドバイスしてくださった先生方など、たくさんのサポートに感謝しています。

## もっと世界を旅したい。 もっと地球人に出会いたい。

自分とは何か。めざす場所はどこか。試行錯誤の末に彼女が選んだのは、世界中を旅しながら仕事する「ノマドワーク※」という生き方でした。一時帰国中にお話を聞かせてくださった対木さん、人生という旅に終わりはありません。



### 家はいらない。パソコンとスーツケースがあれば

北星学園大学は外国人の先生や留学生が多くて、グローバルな空気を感じていました。その頃から外へ飛び出したいという思いがあり、ありとあらゆるアルバイトを経験。その反面、自分の適性や目標が絞りきれずにいつも迷っていました。卒業後もカラーコーディネーターや行政の臨時職員、バーテンダー、モデルなどの仕事を転々とし、24歳の時にウェブデザインの専門学校へ。秘書として働いて学費を稼ぎながら学び、ウェブ制作会社に就職しました。実務を通してデザインやコーディング、プログラミング、ディレクションなどひととおりのスキルを身につけたのち、東京で別のウェブ関連会社への転職を経て30歳を目前に独立しました。

ウェブ関連の仕事はパソコンがあればどこでもできます。もともと一ヵ所に留まるのが苦手でノマドワークに憧れていたこともあり、徐々に旅への思いが募り始めました。旅に出るなら不在中の家賃を払うのはもったいない。そう考えて東京の家を引き払ってしまいました。残ったのはキャビンサイズのスーツケースとパソコンの入ったリュックサックのみ。これが新しい暮らしのすべてでした。

### 地球人のマインドにふれ、日本の良さを知る

昨年はポルトガルを皮切りにヨーロッパやアジア、中東、北米など21カ国・地域を周遊。安いゲストハウスなどに泊まりながら、現地のカフェやシェアスペースで仕事をしています。英語はスカイプ英会話で勉強した程度でしたが、行ってしまえばなんとかなる!という不思議な自信がありました。小さなトラブルはよくあり、スーツケースをなくしたこともあります。幸い戻ってきましたが「なくても死ぬわけじゃない、また買えばいい」と思っていました。また、私にとって旅先で会う人は「外国人」ではなく「地球人」。言葉は違っていても困った時に助け合うマインドは同じだから、孤独に感じることもありません。それに今はインターネットや無料通話アプリがあるので、日本にいる家族や友人といつでもつながっている安心感があります。

海外にいるからこそ、日本の良さを再認識することも多くなりました。健康的で美しい和食、和を重んじる気質、マナーやモラルの高さ……将来は、こうした日本の素晴らしい文化を世界に発信するビジネスを起ち上げてみたいと思っています。そのために今後も世界中を旅してたくさんの「地球人」に出会い、視野を広げていければと願っています。

※ノマドは「遊牧民」の意。ノートパソコンやタブレット型端末などを使って、自宅やオフィスなどの特定の仕事場をもたずに仕事をすること。また、そのような働き方。



チェコ・プラハの国立劇場。生オーケストラの『カルメン』を約800円という安さで観劇できて大感動!



UAE・アブダビのシェイク・ザイード・グランドモスクは圧巻の美しさ。イスラム圏のため観光客はアバヤを着用します。



ポルトガル・リスボンのゲストハウスで仕事中。ポルトガルはカフェみたいにオシャレなゲストハウスが多いんです。

# 自らを鍛え、友情を育んだ4年間。 合気道がくれた生涯の宝。

大学での学びは授業だけではありません。学生が自主的に運営するサークル活動もそのひとつ。好きなことにとことん打ち込み、学科や学年、時には大学の垣根も越えた友情を育む経験は、社会に出ても色あせることのない価値ある財産として、人生を豊かに彩ります。



## 合気道に打ち込んだ学生時代

高校時代に受験を考えた際、北星学園大学は国際交流から地域連携まで多彩な活動を行っていて、学業以外にもいろいろな経験ができそうだと感じて志望しました。入学後はサークル活動に力を入れたいと考え、いろいろな部活動を見学した末に選んだのが合気道部でした。合気道にはさまざまな流派があり、本学合気道部は武田流中村派に属します。同門にある北海道大学と札幌学院大学とは日頃から一緒に稽古したり、年に一度全道8大学の合気道部が集まる「八大交流会」では大学や流派の垣根を越えた交流を行ってきました。

## コミュニケーションの本質を合気道に学ぶ

合気道は自分の力を使わず、相手の力をを利用して制する武道になります。相手との間合いを尊重しながら制する技術の本質は、コミュニケーションスキルの学びに通じると感じています。僕自身、もともと人見知りだったので、他大学の稽古や合気道の交流会に参加するうちに人づき合いを楽しめるようになりました。今では合気道が僕のコミュニケーションスキルを育んでくれたようにも感じています。学生時代に培った交友関係は卒業後も変わらず、今も大学の稽古や道外遠征などに参加しています。合気道を通じて心身を鍛錬し、大学や流派の垣根を越えた友情を築くことができたのは生涯の宝だと思っています。

合気道部は初心者が多いので、育成にも力を入れました。僕自身も入部当初は初心者でしたが、学年が進み道内大会で優勝や全国ベスト8などの結果を残すことができました。合気

道部の後輩を指導をする際には、わかりやすい言葉で指導法の工夫をすることを心がけ、その結果「渋谷先輩に教わりたい」と言ってもらえるようになれたのは、なによりうれしいことでした。この人材育成力を学んだ貴重な経験が、今では仕事のさまざまな場面で活かされています。

## 仕事と武道を両立し、自分らしい生き方を

現在は函館市の消防職員として勤務しています。自分が生まれ育ち、家族や友人、お世話になった方々が暮らす地域の役に立ちたいという思いを仕事に反映できるのはとてもやりがいがあります。今後さらにキャリアを積んで、地域の方々と密に関わっていけたらと願っています。そしてこれからも仕事と武道を両立していきたい。合気道と並行して沖縄拳法も稽古しているのですが、函館でも機会があれば稽古の場を設けるなど、武道仲間を増やしていけたらうれしいですね。仕事でもプライベートでも目の前にいる人と真摯に向き合い、密な信頼関係を築いていく。そんな自分らしい生き方を貫いていきたいと思っています。



3年生の時、全国大会に出場。北海道大学・札幌学院大学の同門の仲間とともに。



大学3年の夏に富山大学の合気道セミナーに参加。これを機に富山大と深いつながりが生まれ、卒業した今でも交流は続き、去年・今年と夏合宿へ参加しています。

# RENEWAL

## 北星らしさを、 自分らしいデザインで伝えたい。

誌面  
リニューアル  
特別企画

『HOKUSEI@COM』の表紙が今号から新しくなりました。

デザインを手がけたのは本学の在学生(取材当時)。

学生らしいフレッシュな感性が光る作品を披露してくれた佐々木さんに、

デザインにこめた思いを聞きました。

さ さ き し ほ  
**佐々木 紫帆 さん**

短期大学部 生活創造学科卒業(2017年)  
(網走南ヶ丘高等学校出身)



### デザインの役割を知って興味が湧いた

小さい頃から漫画やアニメのキャラクターなどのイラストを描くのが好きで、短大でもクリエイティブデザインゼミを選択しました。当時はイラストとデザインの違いもわからず、最初の課題でアニメのキャラクターを描いてしまったほど。キャラクターの外見やイメージを描写するイラストとは違い、デザインは商品の魅力や特性を視覚化して伝えるものと学び、身近にありながら今まで気づかなかったデザインの役割を意識するようになりました。

### 人と比べず、人が気づかないアプローチを

私は融通が利かないところがあり、デザインアイデアを練っていてもなかなか発想が広がらないことが多いのですが、ゼミの仲間はアイデア豊富でセンスの良い人が多く、私が思いつかないような発想に驚かされることもしばしば。でも、デザインは人と比べて優劣を競うものではなく、同じテーマでも一人ひとり違う表現が生まれるのが面白いのだと思います。他の人と同じようなデザインではなく、自分らしいアプローチを考えることを心がけてきました。デザインの勉強を通して、物事をいろいろな角度から見て、人が気づかない表現を掘り起こしていく面白さを学んだように思います。

### インパクトのある表現で 北星らしさをアピール

ゼミの課題で『HOKUSEI@COM』の表紙デザインを制作する上でも、他の人は違うインパクトのあるデザインを心がけました。写真を斜めにレイアウトすることで躍動感を演出。北星のシンボルである星を大胆に配置し、北星らしさをはつらつとした印象で表現しました。『HOKUSEI@COM』を手に取る方が、北星学園大学に良いイメージを持ってくださればいいなと願っています。卒業後は北見市の建築会社で社会人の第一歩を踏み出します。2年間学んだ知識をもとに、デザインを通して多くの方のお役に立ちたいと思います。



短大部生活創造学科クリエイティブデザインゼミでは「見て伝わる(視覚伝達)」スキルを社会で役立てるべく、デザイン作品の制作に取り組んでいます。

今こそ!

## 北星に行こう!

大学内には、地域のみなさまにもご利用いただける施設があります。今回はその中から、ゆったりと読書ができる図書館と、おいしくてリーズナブルな学生食堂をご紹介します。

学生広報委員とは、学生の目線から北星学園大学の魅力を発信すること目的として広報活動を行うボランティアの学生です。

## 図書館



図書館には、現在約57万5千冊・約6千種の雑誌が所蔵されています。館内には学習用閲覧席の他、ゆったりと新聞や雑誌が閲覧できるブラウジングコーナーがあり、図書は2週間の館外貸出ができます。

## 学外の方の利用方法

## 一日だけ利用したい場合(貸出不可)

## STEP 1

現住所の分かる身分証明証(運転免許証、健康保険証、住民票等)を持って、図書館カウンターへ。

## STEP 2

図書館カウンターにて手続きを行えば利用できます。

## 継続的に利用したい場合(貸出可)

## STEP 1

現住所の分かる身分証明証と証明写真(3cm×3cm)1枚を持って、図書館カウンターへ。

## STEP 2

図書館カウンターにて手続きを行うと「図書館利用者カード」が発行されます。年度毎の更新が必要になりますので、更新の際は利用者カードと身分証明証が必要。

## 高校生の場合(閲覧席での勉強、図書等の閲覧が可能)

## STEP 1

生徒手帳を持ってカウンターへ。

## STEP 2

手続き後、「許可証」が発行されます。



人気の貸出図書等も紹介しています。

※図書館利用者は駐車場のご利用はできません。



## 学生食堂



学生食堂では、500円以下の価格でもおいしい食事を楽しむことができ、期間限定で季節や地域にちなんだメニューの提供もあります。営業期間は11時～17時まで。(授業期間外や土日・祝日等については、北星学園生活協同組合ホームページでご確認ください)

## 学外の方の利用方法

## STEP 1 何を食べるか決める

入口奥にあるメニュー紹介スペースで注文するメニューを決めます。期間限定メニューもオススメです。



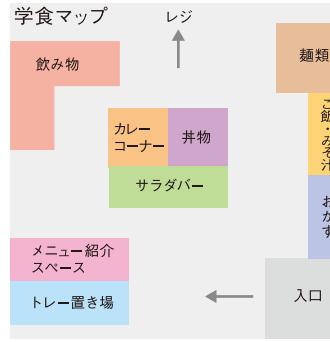
## STEP 2 食べたいメニューの所へ

学生食堂は、メニューによってコーナーが分かれています。食べたいものを選んでトレーにのせましょう。



## STEP 3 注文が必要なもの

うどん・ラーメン・そばなどの麺類や丼物・カレーなどはそれぞれのコーナーで注文します。



※12:00～13:00は学生利用で混雑するため、それ以外のお時間がオススメです。

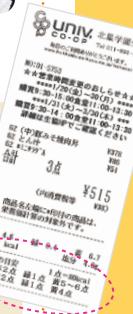
※学食をご利用の場合、C館1階の守衛室で学食利用の旨をお伝えいただいたうえでご利用ください。

## STEP 4 代金を支払う

レジで代金を支払います。

## Pick up ①

レシートには栄養素情報やカロリーが記載されています。これで栄養管理もバッチリです。



## Pick up ②

麺類を注文するときに番号札を横にすると大盛りにすることができます。(追加料金がかかります)たくさん食べたい時にピッタリです。



# 130年の歴史は未来を創る。

学校法人北星学園は、創立130周年を迎えます。

これまで経験してきた様々な出来事を糧にして確かな未来を創っていきます。

## 北星学園創立130周年 変わらぬ思いで未来へ歩み続けます。

北星学園は1887(明治20)年アメリカ人女性宣教師サラ・C・スミスによって創設されたスミス女学校に始まります。スミスは当時の教育界へ革新的で清新な風を吹き込みました。彼女の志に共鳴した新渡戸稻造ら札幌農学校(現北海道大学)教員は協力を惜しまず、その教育内容は当時の教育界で高く評価されました。創設以来彼女の教育姿勢は多くの共鳴者を得、戦後に至って高等教育部門と共学部門の開設につながりました。現在学園は4キャンパスを擁し、生徒・学生・大学院生総数約6,000名、教職員総数約400名を数える総合学園に発展しています。約4,400名の集う北星学園大学は文学部・経済学部・社会福祉学部・短期大学部および大学院からなり、高質な教育・研究を展開しています。キャンパスは札幌市の東南の緑豊かな郊外に位置し、学生たちは教室はもちろん蔵書豊かな図書館や快適なラーニング・コモンズで勉学に勤しんでいます。「暗い世にあって星のように輝く」(聖書: フィリピの信徒への手紙2章15節) 理想を学園名に込めた北星学園大学の卒業生たちは、いま国内外で活躍しています。皆さんのがその一員になられることを心から期待しています。

学校法人北星学園理事長

大山 順夫



### 創立130周年記念ロゴマーク



北星学園創立130周年を記念してロゴマークを作成しました。創立者スミスが初めて札幌に持ち込み、「札幌市の木」にもなっている「ライラック」と「創立130周年」をイメージして作成しました。北星学園が擁する各学校の学生・生徒たちが巣立った後、深く大地に根付き、美しい花を咲かせ、星のように輝く人になってほしい。今も昔も、そして未来も変わらない願いを表現しています。

### 記念聖句

「Shine Like Stars—世にあって星のように輝く—」

記念聖句は「北星」の校名の由来となった聖書の一節(フィリピの信徒への手紙第2章15節)です。新渡戸稻造が薦め、学園創立者スミスがたいへん喜んだというように、光を掲げることを目指す本学園の教育が校名の如く、名実共に神の豊かな祝福の中で進められていくべき、という願いが込められています。

### 記念講演会

日時: 2017年9月30日(土) 15:30 ~ 17:00

場所: 北星学園スミス記念講堂

[札幌市中央区南4条西17丁目2番2号]

演題: いのちへのまなざし

講師: 柏木哲夫氏(淀川キリスト教病院理事長)

定員: 300名

申込方法: お電話かE-mailでお申込みください。  
お申込みいただいた時点で受付完了となります。

TEL: 011-891-2731(法人課)

E-mail: houjin@hokusei.ac.jp

申込締切: 9月22日(金)

その他: 入場は無料です。

公共交通機関をご利用ください

<柏木 哲夫 氏 略歴>

淀川キリスト教病院理事長、淀川キリスト教病院名誉ホスピス長

大阪大学名誉教授、ホスピス財団理事長

1965年大阪大学医学部卒業。同大学精神神経科に3年間勤務し、主に心身医学の臨床と研究に従事。その後3年間、ワシントン大学に留学し、アメリカ精神医学の研修を積む。1972年帰国し、淀川キリスト教病院に精神神経科を開設。翌年日本で初めてのホスピスプログラムをスタート。その後、同病院にて内科医としての研修を受け、1984年にホスピス開設。副院長、ホスピス長を経て、1993年大阪大学人間科学部教授就任(人間行動学講座)。淀川キリスト教病院名誉ホスピス長。大阪大学定年退官後2004年4月より金城学院大学学長。2007年4月より金城学院大学院長を兼務。2013年9月より淀川キリスト教病院理事長。1994年日米医学功労賞、1998年朝日社会福祉賞、2004年保健文化賞受賞。

<主な著書>

『心をいやす 55のメッセージ』(いのちのことば社)、『癒しのユモア』(三輪書店)、『ベッドサイドのユーモア学』(メディカ出版)、『定本ホスピス・緩和ケア』(青海社)、『いのちに寄り添う』(KKベストセラーズ)、『死にざまこそ人生』(朝日新書)、『いのちへのまなざし』(いのちのことば社)、など。



本学では、学生はもちろん保護者や地域のみなさまに有意義な取り組みを多彩に展開しています。2017年度前期に実施した事業や活動の一部をここにご紹介します。

## アクセシビリティ支援室を開設しました

ミッション・ステートメント及び建学の精神に基づき、障がいのある学生及び特別な支援を必要とするすべての学生への支援などを行ってきました。その一環として今年度より「アクセシビリティ支援室」を開設。障がいやその他の理由で困難を感じている学生が社会的障壁のない大学生活を送ることができるように、教員や学内各部署との連携のもとで相談に応じるなど、合理的な配慮に基づく支援を行っています。



## 2017年度も朝食50円キャンペーンを行っています

学生に朝食の重要さを認識してもらうため、北星学園大学学生医療互助会では2016年度より400円相当の朝食を50円で提供するキャンペーンを実施しています。今年度は4月に第1回目(述べ539名)、5月に第2回目(述べ380名)が実施され、学生にも大好評でした。後期も実施する予定です。本学は、学生生活をさまざまな角度からサポートしています。



## 地区別父母懇談会

(札幌／旭川／北見／帯広／釧路／函館／苫小牧) ※今年度開催順



学生生活や就学状況、就職状況等について大学の教員と保護者のみなさまが直接懇談をするプログラムを道内7会場で毎年開催しています。離れて暮らしているお子さまの様子を知る機会として、保護者のみなさまからご好評をいただいているいます。

## 北星学園創立130周年大学記念講演会が開催されました

学校法人北星学園は今年創立130周年を迎えました。これを記念して7月8日に法政大学総長・田中優子氏による特別講演会「グローバリゼーションと江戸文化」を開催いたしました。テレビのコメンテーターとしてもご活躍の田中総長は、法政大学の建学の精神や法政大学が大切にしていることのほか、ご自身の専攻である「江戸時代の文学・生活文化」における技術のイノベーションについて語ってくださいました。当時の絵画などを用いたわかりやすいお話に、約400名の参加者は真剣な様子で耳を傾けていました。



### ◎第1回(6月24日)

大学の授業をリアルに体験できる模擬講義のほか、学生によるキャンパスツアーやキャンパスライフ相談、留学相談を開催。「いち早く大学生を体験できた」「この学科に興味がわいた」と多くの感想が寄せられました。その他、保護者向けの説明会も開催し、保護者の方々にも本学への理解を深めていただきました。

### ◎第2回(8月5日)

夏休み期間中とあって道内各地や本州からの参加者も含めて約1,500名が参加。「学科体験プログラム」では学生の実演による模擬裁判



(経済法学科)など、各学科が趣向を凝らした企画を用意。「学生の英語の発音が素晴らしい」「先生のお話が面白くてますます入学したくなった」などの感想が寄せられ、パンフレットやウェブでは味わえない実践的な学びを実感していただけたようです。

**9月23日(土・祝)に第3回キャンパス説明会を開催します!**  
今年最後のチャンス、お見逃しなく。

北星学園大学 国際教育センター  
公開講座が開催されました

5月30日、本学の協定校であるジュニアータ大学(米国)で主に歴史を担当しているダグラス・スティフラー先生による公開講座が本学50周年記念ホールにて行われました。スティフラー先生は幕末から明治にかけて活躍した政治家・勝海舟の玄孫(やしゃご)で、当日は羽織袴に下駄姿で登場。勝海舟の生きた時代と考えについて、福澤諭吉との比較を盛り込みながらお話ししてくださいました。全編英語での講演でしたが、一般来場者の方々や本学学生からたくさんの質問があり、その回答に会場全員が納得したり感心したり。講演後も非常に充実した時間となりました。



## TOPICS

### ディズニーワールドと連携した 「バレンシア国際カレッジプログラム」が 始まります！

北星学園大学短期大学部英文学科では、ディズニーワールドとの連携によるビジネスマネジメントプログラム「バレンシア国際カレッジプログラム」を開始します。これは短期大学としては全国初となる取り組みです。

本プログラムでは米国フロリダ州オーランドにあるバレンシア・カレッジへ留学。同カレッジ講師とウォルトディズニーカンパニーの講師によるビジネスマネジメントおよびホスピタリティのコースを履修しながら、ディズニーワールドでのインターンシップを行います。参加学生はディズニーのインターン専用学生寮に入寮し、世界各国から集まる大学生と約半年間にわたり共同生活を送ります。留学を通して語学に磨きをかけるとともに、世界のエンターテイメントの最高峰であるディズニーワールドでビジネスの最前線を学ぶ体験は、社会に出る上でのモチベーションを大いに高めるきっかけとなっています。



#### [プログラムに参加した他大学学生の声]

「英語を学ぶのではなく、英語で学ぶ。語学はもちろんですが、通常の留学では学べないこと、経験できないことがたくさんありました。ホームシックにかかる暇もないほど、あっという間の充実した半年間でした。」

「プログラムを通して言語だけではなく、自分の人間力に自信を持つことができました。半年間は短く感じますが、20年間生きてきた中で最も濃くて意味のある半年間を過ごせました。」

「ディズニーのサービスを働きながら学び、世界中の人々と交流し、海外で「学ぶ・暮らす・働く」という体験をすべて手に入れることができました。さまざまな国の文化にふれるだけでなく、海外で仕事をすることは大きな自信となりました。この経験は一生の宝物です！」

「フロリダはスペイン語を話す人々も多かったので、言語の重要性も感じました。プログラムを通して自分が将来やりたいことも明確になったので、この経験を就職活動や卒業論文にも活かしていきたいと思います。」

### 北星学園大学オリジナルグッズが当たる！

### まちがいさがしクイズ

【今号のまちがいさがしスポット】

ラウンジ

C館の4階から7階には、各階ごとに異なるテーマカラーを配した開放的なラウンジがあります。

特に、6階以上のラウンジからは札幌ドームや札幌市の街並みを望む眺望を楽しむことができ、学生たちの憩いの場となっています。



#### ★応募要項

ハガキに以下の内容をご記入の上、下記送付先までご応募ください。

①問題の答え（まちがい5個） ②郵便番号 ③住所 ④氏名

⑤電話番号 ⑥HOKUSEI@COMのご意見・感想

送付先：〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号

北星学園大学 HOKUSEI@COM「まちがいさがし」係

2017年10月31日(火)必着

#### ★正解発表

『HOKUSEI@COM』24号（2018年1月発行予定）に掲載いたします。

※ご応募は1号につき、おひとり様1回までとさせていただきます。

※正解者の内から厳選なる抽選の上、当選者を決定いたします。当選の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※お送りいただいた情報は賞品の発送のみのために使用させていただきます。

※ご住所・転居先の不明等で賞品をお届けすることができない場合は、当選を無効といたします。

#### 【前号の正解】

